

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文		
			学年	2	
			コース等	AB選抜・AB文系・スポーツ	
	使用教科書		『現代文B』数研出版	履修単位数	3
学習目標	<p>「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」の育成を目指し、「知識及び技能」習得ばかりでなく、主体的な表現等を重視し、話し合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習を実践し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p>			評価の観点	<p>読解力だけでなく、「話し合いや論述などの『話すこと・聞くこと』、『書くこと』の領域の学習についても相互評価などを利用し積極的に評価する。</p>
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	評論(一) 国境を越える言葉	<ul style="list-style-type: none"> ▼随想的な文章の表現を味わいつつ、論理展開を正確にたどる力を養う。 ▼日常に結びついた言葉と、概念を表す言葉の働きの違いを理解する。 ▼国境を越えて概念を共有することの大切さと難しさについて考える。 			
5	小説(一) 山月記	<ul style="list-style-type: none"> ▼表現効果を味わいながら、作品世界を鑑賞する。 ▼登場人物の言動からその性格と心情について考える。 ▼主人公の生き方や考え方を自己の問題としてとらえ、作品の主題について考える。 			
《第1回定期試験》					
6	評論(二) 「内的成長」社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ▼各段落のつながりを意識して読解する。 ▼同じ内容がどのように言い換えられているかに着目する。 ▼「中間社会」崩壊の現状や、筆者の言う「内的成長」社会の中身を考える。 			
7	評論(三) 未来世代への責任	<ul style="list-style-type: none"> ▼「悪魔」「倫理」「利己心」などのキーワードに沿って本文を読み取る。 ▼「共有地の悲劇」についての具体例を、筆者の主張に結びつけて理解する。 ▼経済学、環境問題、資本主義など、現代社会を考えるために必要不可欠な事項に関する基本的な考え方を学ぶ。 			
9	起業シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ▼自身の進路について考えるきっかけとし、社会と学問の関係を考える。 ▼グループワークを通して協働する姿勢を涵養する。 			
《第2回定期試験》					
9	評論(三) 科学・技術の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ▼自然科学をテーマにした文章を読むことで、広い知識・視野を持てるようにする。 ▼科学・技術と社会との関わりの変遷を整理しながら読み取る。 ▼科学者の社会的責任、科学と私たちとのこれからの関係について考える。 			
10	の中の社会				
11	小説(三) ころ	<ul style="list-style-type: none"> ▼心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解する。 ▼複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理する。 ▼長編小説を読む力を鍛え、作品の構造について俯瞰的に見る力をつける。 			
《第3回定期試験》					
12	小説(三) ころ	<ul style="list-style-type: none"> ▼修学旅行に向けて漱石とイギリスの関係について考える。 			
1	評論(四) 偶然とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ▼各段落のおおまかな内容と、段落相互の関係に注意して読むことを意識する。 ▼「神の自由意志」と「偶然」、「ロゴス」と「必然」を筆者がそれぞれ対応させていることを理解する。 ▼人間は「純粋の『偶然』」を受け入れられず、「偶然」の中に「神意」を見いだして「必然」とみなしてしまうという筆者の主張を理解する。 			
2	表現 1 広告	<ul style="list-style-type: none"> ▼広告が何を伝えようとしているのかを読み取り、さまざまな工夫に気づく。 ▼広告に対する批評眼を養う。 ▼広告の作成を通して、伝えたいことを効果的に表現する力を育成する。 			
《第4回定期試験》					
3	読書プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活字に親しむ機会を作らせ、さらに自身の興味関心と向き合う。 ・人前でプレゼンテーションをしたり、他人のプレゼンテーションを聞いたりすることでコミュニケーション能力を育む。 			
副教材	『現代用語帳 ことのは』 いいずな出版				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	2
				コース等	AB選抜文系・AB文系
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	4
学習目標	語彙や文法事項を身につけ、正確な読解ができるようにし、たくさんの優れた作品に触れ、豊かな教養を身につける。また、作者の境遇や作品の時代背景に迫りながら、古人の文化や風俗についての知識を深める。そして、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。			評価の観点	定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。
授 業 計 画					
月	単元・教材		学 習 内 容		
4	説話 「大江山」(『十訓抄』) 歌物語 「初冠」(『伊勢物語』)		・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって表現上の効果を生み出していることを理解する。		
5	故事 「漱石枕流」		・孫子荆の発言の面白さについて、自分なりの考えを形成する。 ・反語の句法を理解する。		
《第1回定期試験》					
6	随想 「春はあけぼの」(『枕草子』)		・有名な序文から古文のリズムや語感を味わい、古文に慣れ親しむ。 ・当時の宮廷や貴人の生活の様子を読み取り、理解を深める。		
7	「御前にて、人々とも」(『枕草子』)		・敬語の種類、敬意の方向などを学び、古文敬語を理解する。 ・「に」の識別を理解する。		
9	故事 「画竜点睛」 漢詩 絶句・律詩		・張僧繇の書いた竜の絵の特徴をまとめる。 ・使役の句法を復習する。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・表現方法や思想が、日本の文学に影響を与えていることを理解する。 ・疑問・反語の句法を復習する。		
《第2回定期試験》					
9	日記文学 「東路の道の果て」(『更級日記』)		・「ぬ」の識別を理解する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に没頭する様子を読み取る。		
10	日記文学 「物語」(『更級日記』)		・古文読解に必要な語彙力・文法的知識の定着を図る。 ・受領階級の貴族の状況や平安時代の物語文学についての知識を得る。		
11	史伝 「鴻門之会」(『史記』)		・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 ・漢詩の表現と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。		
《第3回定期試験》					
12	物語 「光源氏誕生」(『源氏物語』)		・古典文学最高峰の作品について、序章に触れることを機として話の全容を理解し、古典文学への興味関心をさらなるものとさせる。		
1	物語 「藤壺の内入」(『源氏物語』)		・「源氏物語」「紫式部」と双璧をなす「平家物語」及び「清少納言」と対比させながら、作品の背景にまで思いを巡らせ、作品を味わう。		
2	史伝 「四面楚歌」(『史記』)		・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・現在日本でも耳にする成語の背景から、時代も場所も問わない普遍的な出来事や感性があることや、言葉が持つ奥深さを感じ取る。		
《第4回定期試験》					
3	和歌 「古今和歌集仮名序」		・巧みな表現技法や現代に通ずる感性に触れ、古人の人生や価値観を感じ取れるようにする。		
副教材	『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いづな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文	学年	2
				コース等	AB選抜理系・AB理系
	使用教科書		『現代文B』数研出版	履修単位数	2
学習目標	<p>「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」の育成を目指し、「知識及び技能」習得ばかりでなく、主体的な表現等を重視し、話し合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習を実践し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p>			評価の観点	<p>読解力だけでなく、「話し合いや論述」などの『話すこと・聞くこと』、『書くこと』の領域の学習についても相互評価などを利用し積極的に評価する。</p>
授業計画					
月	単元・教材		学習内容		
4	評論(一)	国境を越える言葉	<ul style="list-style-type: none"> ▼随想的な文章の表現を味わいつつ、論理展開を正確にたどる力を養う。 ▼日常に結びついた言葉と、概念を表す言葉の働きの違いを理解する。 ▼国境を越えて概念を共有することの大切さと難しさについて考える。 		
5	小説(一)	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ▼表現効果を味わいながら、作品世界を鑑賞する。 ▼登場人物の言動からその性格と心情について考える。 ▼主人公の生き方や考え方を自己の問題としてとらえ、作品の主題について考える。 		
《第1回定期試験》					
6	評論(二)	「内的成長」社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ▼各段落のつながりを意識して読解する。 ▼同じ内容がどのように言い換えられているかに着目する。 ▼「中間社会」崩壊の現状や、筆者の言う「内的成長」社会の中身を考える。 		
7					
9					
		起業シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ▼自身の進路について考えるきっかけとし、社会と学問の関係を考える。 ▼グループワークを通して協働する姿勢を涵養する。 		
《第2回定期試験》					
9	評論(三)	科学・技術の歴史の中での社会	<ul style="list-style-type: none"> ▼自然科学をテーマにした文章を読むことで、広い知識・視野を持てるようにする。 ▼科学・技術と社会との関わりの変遷を整理しながら読み取る。 ▼科学者の社会的責任、科学と私たちとのこれからの関係について考える。 		
10					
11	小説(三)	ころ	<ul style="list-style-type: none"> ▼心情表現や比喩表現をとらえて、視点人物の心情や行為の意味を理解する。 ▼複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理する。 ▼長編小説を読む力を鍛え、作品の構造について俯瞰的に見る力をつける。 		
《第3回定期試験》					
12	小説(三)	ころ	<ul style="list-style-type: none"> ▼修学旅行に向けて漱石とイギリスの関係について考える。 		
1	評論(四)	偶然とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ▼各段落のおおまかな内容と、段落相互の関係に注意して読むことを意識する。 ▼「神の自由意志」と「偶然」、「ロゴス」と「必然」を筆者がそれぞれ対応させていることを理解する。 ▼人間は「純粹の『偶然』」を受け入れられず、「偶然」の中に「神意」を見いだして「必然」とみなしてしまうという筆者の主張を理解する。 		
2					
《第4回定期試験》					
3		読書プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活字に親しむ機会を作らせ、さらに自身の興味関心と向き合う。 ・人前でプレゼンテーションをしたり、他人のプレゼンテーションを聞いたりすることでコミュニケーション能力を育む。 		
副教材	『現代用語帳 ことのは』 いいずな出版				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	2
				コース等	AB選抜理系・スポーツ
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	3
学習目標	語彙や文法事項を身につけ、正確な読解ができるようにし、たくさんの優れた作品に触れ、豊かな教養を身につける。また、作者の境遇や作品の時代背景に迫りながら、古人の文化や風俗についての知識を深める。そして、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深める。			評価観点	定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	説話「大江山」(『十訓抄』)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって表現上の効果を生み出していることを理解する。 			
5	歌物語「初冠」(『伊勢物語』) 故事「漱石枕流」				
《第1回定期試験》		<ul style="list-style-type: none"> ・孫子荆の発言の面白さについて、自分なりの考えを形成する。 ・反語の句法を理解する。 			
6	随想「春はあけぼの」(『枕草子』)				
7	「御前にて、人々とも」(『枕草子』) 故事「画竜点睛」				
9	漢詩 絶句・律詩	<ul style="list-style-type: none"> ・張僧繇の書いた竜の絵の特徴をまとめる。 ・使役の句法を復習する。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・表現方法や思想が、日本の文学に影響を与えていることを理解する。 ・疑問・反語の句法を復習する。 			
《第2回定期試験》					
9	日記文学「東路の道の果て」(『更級日記』)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぬ」の識別を理解する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に没頭する様子を読み取る。 ・古文読解に必要な語彙力・文法的知識の定着を図る。 ・受領階級の貴族の状況や平安時代の物語文学についての知識を得る。 			
10	日記文学「物語」(『更級日記』)				
11	史伝「鴻門之会」(『史記』)				
《第3回定期試験》		<ul style="list-style-type: none"> ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 ・漢詩の表現と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 			
12	物語「光源氏誕生」(『源氏物語』)				
1	物語「藤壺の入内」(『源氏物語』)				
2	史伝「四面楚歌」(『史記』)	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・現在日本でも耳にする成語の背景から、時代も場所も問わない普遍的な出来事や感性があることや、言葉が持つ奥深さを感じ取る。 			
《第4回定期試験》					
3	和歌「古今和歌集仮名序」	<ul style="list-style-type: none"> ・巧みな表現技法や現代に通ずる感性に触れ、古人の人生や価値観を感じ取れるようにする。 			
副教材	『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いっずな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	2
				コース等	AB理系
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	2
学習目標	語彙や文法事項を身につけ、正確な読解ができるようにし、たくさんの優れた作品に触れ、豊かな教養を身につける。また、作者の境遇や作品の時代背景に迫りながら、古人の文化や風俗についての知識を深める。そして、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。			評価の観点	定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	説話「大江山」(『十訓抄』)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって表現上の効果を生み出していることを理解する。 			
5	故事「漱石枕流」 《第1回定期試験》				
6	随想「御前にて、人々とも」(『枕草子』) 7 故事「画竜点睛」 漢詩 絶句・律詩 9 《第2回定期試験》	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の宮廷や貴人の生活の様子を読み取り、理解を深める。 ・敬語の種類、敬意の方向などを学び、古文敬語を理解する。 ・「に」の識別を理解する。 ・張僧繇の書いた竜の絵の特徴をまとめる。 ・使役の句法を復習する。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・表現方法や思想が、日本の文学に影響を与えていることを理解する。 ・疑問・反語の句法を復習する。 			
9	日記文学「東路の道の果て」(『更級日記』) 10 11 史伝「鴻門之会」(『史記』) 《第3回定期試験》	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぬ」の識別を理解する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に没頭する様子を読み取る。 ・古文読解に必要な語彙力・文法的知識の定着を図る。 ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。 ・漢詩の表現と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 			
12	物語「光源氏誕生」(『源氏物語』) 1 史伝「四面楚歌」(『史記』) 2 《第4回定期試験》	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文学最高峰の作品について、序章に触れることを機として話の全容を理解し、古典文学への興味関心をさらなるものとさせる。 ・「源氏物語」「紫式部」と双璧をなす「平家物語」及び「清少納言」と対比させながら、作品の背景にまで思いを巡らせ、作品を味わう。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・現在日本でも耳にする成語の背景から、時代も場所も問わない普遍的な出来事や感性があることや、言葉が持つ奥深さを感じ取る。 			
3	和歌「古今和歌集仮名序」	<ul style="list-style-type: none"> ・巧みな表現技法や現代に通ずる感性に触れ、古人の人生や価値観を感じ取れるようにする。 			
副教材	『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いづな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社				